



わが子の学校選びの選択肢として考えてみよう

## 男女別学のメリットとは？

学校選びは、お子さんの将来を決める大切なこと。たとえば、私立の学校には、女子校や男子校など、「男女別学」の学校が数多くあります。共学には共学のメリットがあるように、「男女別学」にも様々なメリットがあります。作家で教育評論家の中井俊巳先生にお話を伺いました。

### 私立「貫校」のメリット 男女別学のメリット

高校受験に追われることなく、中高6年間を一貫教育で行う学校が、私立はもちろん、公立にも数年前から登場し、人気を博しています。子どもたちが様々な経験をして、大きく成長する中学・高校時代に、自分の将来を見据えた考えや学力を身につけ、また友人関係においても6年間に渡って、しっかりと絆を深めてゆけることができるからです。またさらには小学校からの12年間を学ぶ小中高一貫の教育力を入れている学校もあります。とくに私立には、男子校、女子校といった「男女別学」の学校がたくさんあります。共学化が進む時代ではありますが、この「男女別学」にも様々なメリットがあると言われています。

### 男子と女子は違う それぞれに合わせた 教育ができる「別学」

作家で教育評論家の中井俊巳先生は、「そも

そも男子と女子は違う」と話します。まず見え方の違いから言うと、男子は動くものを察知する能力が高く、女子は色の違いに敏感だということ。記憶の仕方では、男子が図形や図式で覚えるのに対して、女子は聴覚が鋭く、音域（話している言葉で覚えていく）で覚えているそうです。また、感情の処理の違いでは、男子は黙ったまま心の中で処理するが、女子は言語にして（おしゃべりなどをして）発散する傾向があると言います。これは保護者の方にも「確かに…」と思いつたるふしがあるのではないのでしょうか。

このほかにも「男女別学」には異性の目を気にしないで、のびのびと過ごせる環境があるということ、失敗を気にしないで質問や発表ができる、といったメリットがあると言います。また特筆すべきは男女ともに主役になれるという点。男子校では、苦手を掃除などを女子任せにできない、女子校では、リーダーシップがと

れるといったことが挙げられます。「例えば体育祭の準備などの力仕事も女子校ならば、男子の助けを借りることはできませんから、自ずと自分たちで解決していかなければなりません。そういったことで、男女ともに幅広く能力を開発できる可能性がありますね」と中井先生は語ります。

### 学校独自の教育理念で 教養だけではなく 品格のある女性に

また私立女子校のほとんどが「女性としての生き方」について、はっきりとした理念を持っています。相手を尊重する心や正しい言葉づかい、あいさつ、互いの個性を認め合う気持ちなどが、自然と育まれていきます。それは、学校を巣立った後も、周囲の人々と円満な関係を築き、社会に貢献できる人となるよう育まれていきます。

「ほかにも2011年出身校別東大合格者数のトップ10校のうち9校が別学である

この方にお話を伺いました



作家・教育評論家  
中井 俊巳 先生

～中井先生の本～



出版社/学研 価格/819円  
Amazonでも購入可能  
※電子書籍もあり

～中井先生のホームページ～

<http://www.t-nakai.com>



NO.49 発売中 取材協力：私立中高 進学通信 関西版

特集は「受験校選びの最終チェックポイント」。わが子に合った学校を選ぶにはどのような視点や心構えが必要なのか。保護者の悩みや疑問も取り上げながら、一緒に考えていきましょう。また、関西2府4県全ての2013年度私立中学校入試要項を掲載。次年度入試の参考資料としてもご活用ください！

進学通信についてのお問い合わせはエデュケーションネットワーク [tel.06-6352-8553](tel:06-6352-8553)

関西の私立学校ナビゲーションサイト <http://www.shigaku.net>

進学通信関西版のFacebookページを開設しました！「いいね！」してね。